

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 5 年 6 月 13 日</p> <p>和歌山市長 様</p> <p style="text-align: right;">提出者 〒641-0007 住 所 和歌山市小雑賀3丁目4番77号 氏 名 小西化学工業株式会社 代表取締役社長 小西 宏宣 電話番号 073-425-0331 (代表)</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	小西化学工業株式会社
事業場の所在地	和歌山市小雑賀3丁目4番77号
計画期間	令和5年5月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	約28億円 (令和4年度実績)
③ 従業員数	92名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>原料投入 ---- 生産 ---- 製品</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p style="text-align: center;">廃棄物発生 ---- 構内保管</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p style="text-align: center;">収集運搬 ---- 処分場</p> <p style="text-align: center;">(委託契約書締結・マニフェスト交付)</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p style="text-align: center;">マニフェスト管理</p> <p>(太字斜体は外部委託)</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

1) 責任及び管理組織

統括責任者：製造部長

廃棄物担当：製造部

2) 役割

- ・ 廃棄物処理に関する検討
- ・ 廃棄物処理計画の作成
- ・ 委託処理業者の調査及び選定
- ・ 廃棄物管理票の交付・管理
- ・ その他関係する事項
- ・ 工場廃棄物の管理手順の策定・改廃
- ・ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- ・ 委託契約の締結
- ・ 監督官庁への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	排出量	1125.324 t	17.099 t	41.795 t	44.141 t	6.976 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥付着水回収による減量に取り組んだ 廃プラスチック類の再利用					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	排出量	1,500 t	100 t	150 t	150 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) 発生量の多い汚泥に関しては、継続して生産工程の見直しを行う					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 原材料・機器等の段ボール箱、その他紙ごみを分別し再利用業者へ引取を依頼 廃プラスチック類の廃棄処理分と再利用処理分を分別し引取を依頼
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現在の所、新規計画なし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	全処理委託量	1125.324 t	17.099 t	41.795 t	44.141 t	6.976 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1125.324 t	17.099 t	41.795 t	44.141 t	6.710 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	6.906 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 当社から排出される廃棄物のうち、汚泥・廃アルカリの製造プロセスの見直しから、発生原単位の改善に取り組む					

②計画	【目標】 令和3年度比で原単位改善を継続して目標とする。					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック
	全処理委託量	1,500 t	100 t	150 t	150 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1,500 t	100 t	150 t	150 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>発生量の多い汚泥に関しては継続して生産工程の見直しを行う。 再生利用できるものは継続して分別作業を行い再利用業者へ委託する。 有価物処理できるものは都度検討し、廃棄物の減量に取り組む。</p>					
※事務処理欄						

処理計画書共通別紙

(産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の種類が6以上の場合使用し、10以上の場合はコピーして使用してください)

(単位:t)

	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
産業廃棄物の種類	1 有機汚泥		2 無機汚泥		3 木くず		4 管理型混合廃棄物		5 蛍光灯	
排出量(第3面)	0.5	0.181	0.5	0.001	10	2.750	10	6.430	0.1	0.090
自ら再生利用する量(第3面)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収する量(第3面)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する量(第3面)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分する量(第4面)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量(第4・5面)	0.5	0.181	0.5	0.001	10	2.750	10	6.430	0.1	0.090
優良認定処理業者への処理委託量	0.5	0.181	0.5	0.001	10	2.750	10	6.430	0.1	0.090
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	10	2.750	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
産業廃棄物の種類	6 金属くず		7 乾電池		8		9		10	
排出量(第3面)	1	0	1	0.040						
自ら再生利用する量(第3面)	0	0	0	0						
自ら熱回収する量(第3面)	0	0	0	0						
自ら中間処理により減量する量(第3面)	0	0	0	0						
自ら埋立処分又は海洋投入処分する量(第4面)	0	0	0	0						
全処理委託量	1	0	1	0.040						
優良認定処理業者への処理委託量	1	0	1	0.040						
再生利用業者への処理委託量	1	0	1	0.040						
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が6以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。